

平成18年度当初予算(教育委員会関係)

4つの重点施策

1 教育における現地現場主義の推進

(1) 「提案型学力充実・向上システム」の創設

学校が主体的に企画・提案する先進的な取組を支援することにより、学校改革や教職員の意識改革を進め、子どもの学力の充実・向上を図る。

京の子ども夢・未来校(小・中学校)

1,000万円

学力充実・向上プログラムの公募制導入と財政支援
地域の教育課題への対応として、公募採択権限の一部を教育局長に移譲
目標・成果の公表による学校評価や積極的な授業公開の推進等

学力向上フロンティア校(府立高校)

1,200万円

学力充実・向上プログラムの企画コンペの実施
学校の自由な発想を支援するため「校長裁量予算」を配分
目標・成果の公表による学校評価や積極的な授業公開の推進等

(2) 地域の課題解決機能の強化

教育局が市町村や関係団体と連携しながら企画・実施する取組を支援することにより、地域の教育的課題を地域で解決する機能を強化する。

地域別教育活動推進費

300万円

教育局の柔軟な発想を生かすため「地域教育企画予算」を配分

2 国に先駆けた府市協調による特別支援教育の充実

喫緊の課題であるLD・ADHD・高機能自閉症等の児童生徒への支援のため、団塊世代の大量退職を見据え、豊富な経験を有する退職教員や特別支援教育専攻の大学院生等を非常勤講師として学校現場に登用し、障害児教育発祥の地「京都」から新たな特別支援教育を展開する。

特別支援教育充実事業

2億2,000万円

小・中学校を対象に100名の教員を配置
個別指導、チームティーチング等による柔軟な指導を実施
退職教員の教師力の伝承と教員を目指す若い大学院生等の実践

3 三本柱(体験活動・道徳教材・読書活動)による「こころ」の育み

(1) 子どもの成長に合わせた体験活動の推進

京の子ども夢・未来体験活動推進事業

4,350万円

府内の全小中学校における体験活動の実施
体験活動支援企業等バンクの設立による学校支援

(2) 京都の英知を結集した「京都府版教材資料」の作成

「心の教科書」作成費

4,200万円

小学校3編(低学年・中学年・高学年) 中学校編の4部作

(3) 学校・家庭・地域社会の協働による読書活動の推進

豊かな心を育てる読書活動推進事業

440万円

「みんなで読もう!1000万冊読書キャンペーン」の実施
「声を出して読もう in 京都」の開催

4 子どもの安心・安全の確保

(1) 学校施設の安心・安全の確保

府立高校の耐震補強工事について、学校数・予算額ともに前年の2倍、平成16年度比では、学校数で5倍、予算額は10倍となる大幅な増額予算を計上し、生徒の安心・安全の確保と防災機能の充実を積極的に推進する。

府立高校耐震強化対策

18億8,400万円

年度	4校	1億8,900万円(新規2校、継続2校)
年度	10校	8億2,100万円(新規8校、継続2校)
年度	18校	18億8,400万円(新規11校、継続8校)

(2) 子どもの見守り体制の充実

知事部局や警察と連携しながら、学校・家庭・地域社会の協働による効果的な安全体制の整備を支援する。

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

2,200万円

地域学校安全指導員(スクールガード・リーダー)による全小学校区の巡回指導
学校安全ボランティア(スクールガード)の養成

(3) 子どもの「こころ」の安心の確保

いじめ、不登校、少年の凶悪犯罪等の状況を踏まえ、子どもの「こころ」の安心を確保するため、相談体制や不登校対策の拡充を推進する。

心のサポート推進事業費

2億3,681万円

「心の居場所サポーター」の新規配置による相談・学習支援
スクールカウンセラーの増員によるカウンセリング等の充実
民間施設(フリースクール)との連携やIT活用による学習支援

平成18年度 当初予算主要事項説明資料

資料- 1	京の子ども学力充実総合推進事業費
資料- 1 - 1	京の子ども学力充実総合推進事業費（図）
資料- 2	子どものための京都式少人数教育推進費
資料- 3	特別支援教育充実事業費
資料- 4	府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費
資料- 4 - 1	府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費 - 「確かな学力」向上プラン - （図）
資料- 5	心の居場所サポーター配置事業費
資料- 5 - 1	心の居場所サポーター配置事業費（図）
資料- 6	京の子ども夢・未来体験活動推進事業費
資料- 7	豊かな心を育てる読書活動推進事業費
資料- 7 - 1	豊かな心を育てる読書活動推進事業費（図）
資料- 8	「心の教科書」作成費
資料- 9	府立高校サタデー広場活動事業費
資料-10	地域別教育活動推進費

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	京の子ども学力充実総合推進事業費		
予算額	37,100千円	新規・継続の別	新規・継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 京の国語力向上プロジェクト (新規)		
	目的	学校教育における国語力の向上	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームを設置し、児童生徒の国語力の課題を分析 国語力向上に関する京都府版指導資料の作成 京都府版国語科年間指導カリキュラムの作成 指導内容に応じた国語科教授法の開発 	
	2 教科国語の指導力アップ研修 (新規)		
	目的	国語教育の中核となって授業改善を進める指導者の養成	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 大学等専門機関と連携した研修の実施 指導方法の工夫改善講座、音読講座 		
事業内容 (目的 対象 方法等)	3 学力充実・向上システム (新規)		
	目的	現地現場主義による学力の充実向上、校長を中心とした学校改革、全教職員の意識改革と指導力の向上	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 京の子ども夢・未来校(学校数:50校 期間:2年間) 学校が企画、立案する学力向上プログラムの公募制を導入 地域別教育課題に対応するため、一部教育局長採択を実施 実践内容 <ul style="list-style-type: none"> 教材開発と授業改善、評価規準等の開発等 波及方法等 採択校の授業公開や実践内容・成果の発表会の開催 開発した教材等を教育情報ポータルサイトに掲載 学校評議員や保護者との連携による学校評価を推進 	
4 小学校基礎学力診断テスト・中学校学力診断テストの実施			
目的	府内小中学校の児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導及び授業改善に役立てる。		
内容	小学校	中学校	
	対象:第4学年・6学年 教科:国語・算数	対象:第2学年 教科:国語・数学・英語	
担当課・係名	学校教育課 指導第1係	課・係 電話番号	075-414-5833

京の子ども学力充実総合推進事業

ねらい

学校教育における国語力の向上
現地現場主義による学力の充実向上
校長を中心とした学校改革
全教職員の意識改革と指導力の向上

京の国語力向上プロジェクト

京の国語力向上プロジェクトの発足

プロジェクトチームを設置し、京都府の児童生徒の国語力の課題分析

国語力向上に関する京都府版指導資料の作成

小中学校9年間を見通した京都府版国語科年間指導カリキュラムの作成

指導内容に応じた国語科教授法の開発

学力充実・向上システム

京の子ども夢・未来校

学校数 50校

現地現場主義の観点から、学力向上プログラムの公募制を導入
地域別教育課題に対応した学力向上プログラムの採択については教育局長が選定

期 間 2年間

実践内容

教材開発と授業改善

評価規準等の開発

府内への波及方法

夢・未来校の授業公開を推進

教育情報ポータルサイトに開発した教材等を掲載

実践内容・成果の発表会の開催等

学校評議員や保護者との連携による評価と学校改革を推進

学力の向上

教材・教具の開発と授業改善の推進

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	子どものための京都式少人数教育推進費																													
予算額	7,731,410千円	新規・継続の別	継続																											
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 小学校低学年指導充実費（継続）</p> <table border="1" data-bbox="879 871 1316 952"> <tr> <td>配置教員数</td> <td>726人</td> </tr> <tr> <td>予算計上額</td> <td>768,964千円</td> </tr> </table> <p>小学校1・2年生で、2人の教員による指導を行う。 配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用</p> <table border="1" data-bbox="429 1095 1390 1216"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>配置時間（期間）</th> <th>配置数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>週28時間 全学期</td> <td>約363学級</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>週10時間 1学期</td> <td>約363学級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 京の子ども・少人数教育推進費（継続）</p> <table border="1" data-bbox="879 1296 1345 1377"> <tr> <td>配置教員数</td> <td>752人</td> </tr> <tr> <td>予算計上額</td> <td>6,866,697千円</td> </tr> </table> <p>小学校及び中学校で、児童生徒の実態に応じた指導を行うため、少人数授業・チームティーチング・少人数学級を市町村教育委員会の選択に応じて教員を配置</p> <table border="1" data-bbox="384 1543 1422 1664"> <tr> <td>少人数授業</td> <td>児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開</td> </tr> <tr> <td>チームティーチング</td> <td>学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開</td> </tr> <tr> <td>少人数学級</td> <td>市町村の判断により、基準を下回る人数で学級を編成</td> </tr> </table> <p>(3) 全中学1年生英数少人数教育実施費（継続）</p> <table border="1" data-bbox="879 1744 1316 1825"> <tr> <td>配置教員数</td> <td>274人</td> </tr> <tr> <td>予算計上額</td> <td>95,749千円</td> </tr> </table> <p>中学校1年生における英語、数学の基礎学力の定着を図るため、30人を超える学級において、少人数教育が実施できるよう教員を配置</p>			配置教員数	726人	予算計上額	768,964千円	学年	配置時間（期間）	配置数	1年生	週28時間 全学期	約363学級	2年生	週10時間 1学期	約363学級	配置教員数	752人	予算計上額	6,866,697千円	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開	チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開	少人数学級	市町村の判断により、基準を下回る人数で学級を編成	配置教員数	274人	予算計上額	95,749千円
配置教員数	726人																													
予算計上額	768,964千円																													
学年	配置時間（期間）	配置数																												
1年生	週28時間 全学期	約363学級																												
2年生	週10時間 1学期	約363学級																												
配置教員数	752人																													
予算計上額	6,866,697千円																													
少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開																													
チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開																													
少人数学級	市町村の判断により、基準を下回る人数で学級を編成																													
配置教員数	274人																													
予算計上額	95,749千円																													
担当課・係名	教職員課 人事係 学校教育課 指導第1係	課・係 電話番号	075-414-5799 075-414-5833																											

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	特別支援教育充実事業費										
予算額	220,000千円	新規・継続の別	新規								
事業内容 (目的) (対象) (方法等)	<p>1 目的 現在、小・中学校においては、通常学級に在籍する児童生徒の中で、とりわけLD・ADHD・高機能自閉症等の児童生徒に対する指導、支援が強く求められており、その対策は喫緊の課題となっている。 そこで、障害児教育発祥の地である京都府においては、京都市教育委員会とも協調し、これらの障害がある児童生徒に対して適切な教育的支援や支援体制の整備などを先導的に行うため非常勤講師を配置し小・中学校における特別支援教育の充実を図る。 LD：学習障害 ADHD：注意欠陥・多動性障害</p> <p>2 内容 (1) 教員配置 LD、ADHDなどの発達障害等により、特に支援を必要とする児童生徒が在籍する学校において、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援を充実させるため、今後増加する団塊の世代の退職教員や特別支援教育専攻の大学院生等を非常勤講師として配置</p> <table border="1" data-bbox="638 1411 1284 1534"> <tr> <td rowspan="2">配置教員数</td> <td>郡部</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>京都市</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算計上額</td> <td>220,000千円</td> </tr> </table> <p>(2) 指導形態 個別指導 指導補助(チームティーチング) 後補充(担任の個別指導時等)</p> <p>(3) 配置方法 京都府・京都市教育委員会が各校の実態を把握のうえ配置</p>			配置教員数	郡部	50名	京都市	50名	予算計上額		220,000千円
配置教員数	郡部	50名									
	京都市	50名									
予算計上額		220,000千円									
担当課・係名	教職員課 人事係 特別支援教育課 企画調整係	課・係 電話番号	075-414-5799 075-414-5834								

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費																																				
予算額	90,786千円	新規・継続事業の別	新規・継続																																		
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 生徒一人ひとりの『確かな学力』の向上と希望進路の実現に向けて、府立高校が主体的に企画し教育改革を推進する取組を支援する。																																				
	2 事業概要 (単位：千円)																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">事業名</th> <th style="width: 60%;">概 要</th> <th style="width: 20%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="338 739 651 913" rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 「確かな学力」向上プラン </td> <td data-bbox="651 739 1326 913"> (新規) 学力向上フロンティア校支援 ・ 生徒の学力の向上を目指し、学校が主体的に企画する先進的な取組を支援する。 ・ テーマ：教科教育の充実・向上 (例) 国語力、理数系学力、英語力、基礎学力、専門教育 </td> <td data-bbox="1326 739 1473 913" style="text-align: center;">12,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 913 1326 1025"> 社会人講師授業改善プログラム ・ 京都の大学や企業・学研都市の研究機関などの外部人材(社会人講師)による授業を積極的に展開し、生徒の学習意欲や学力の向上を図る。 </td> <td data-bbox="1326 913 1473 1025" style="text-align: center;">11,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1025 1326 1115"> 基礎学力充実 ・ 基礎・基本の徹底による学力充実 </td> <td data-bbox="1326 1025 1473 1115" style="text-align: center;">1,500</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="651 1115 1326 1171" style="text-align: center;">小 計</td> <td data-bbox="1326 1115 1473 1171" style="text-align: center;">24,500</td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1171 651 1921" rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 「豊かな未来」実現プラン </td> <td data-bbox="651 1171 1326 1249"> 学習合宿・進路補習 ・ 集団の中で切磋琢磨し学力の向上を目指す。 ・ 生徒の積極的な学習意欲にこたえる補習等 </td> <td data-bbox="1326 1171 1473 1249" style="text-align: center;">20,350</td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1249 1326 1339"> 資格取得促進 ・ 希望進路の実現のため、必要な資格を積極的に取得させる。 </td> <td data-bbox="1326 1249 1473 1339" style="text-align: center;">2,600</td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1339 1326 1451"> 勤労体験学習 ・ インターンシップ等、将来希望する仕事や職種を体験することにより、生徒に具体的な将来像をもたせる。 </td> <td data-bbox="1326 1339 1473 1451" style="text-align: center;">4,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1451 1326 1541"> 府立高校実力テスト ・ 学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るとともに、適切な希望進路の実現に役立つ。 </td> <td data-bbox="1326 1451 1473 1541" style="text-align: center;">29,950</td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1541 1326 1653"> 校種間連携推進 ・ 高校と大学との連携協力に関する協定締結を支援 ・ 学習指導や多様な教育活動に大学生を活用 ・ 中高一貫教育に関する研究 </td> <td data-bbox="1326 1541 1473 1653" style="text-align: center;">2,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1653 1326 1765"> 教科別合同学習会 ・ 教科指導力充実事業で養成した教員(授業の達人)により、難関大学に対応した受験指導を実施し、希望進路の実現に資する。 </td> <td data-bbox="1326 1653 1473 1765" style="text-align: center;">1,386</td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1765 1326 1865"> 高校生芸術文化活動推進 ・ 京都府高等学校芸術文化連盟への助成により、府内高校生の芸術文化活動の充実・向上を図る。 </td> <td data-bbox="1326 1765 1473 1865" style="text-align: center;">6,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="651 1865 1326 1921" style="text-align: center;">小 計</td> <td data-bbox="1326 1865 1473 1921" style="text-align: center;">66,286</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="338 1921 1326 2004" style="text-align: center;">合 計</td> <td data-bbox="1326 1921 1473 2004" style="text-align: center;">90,786</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	概 要	事業費	「確かな学力」向上プラン	(新規) 学力向上フロンティア校支援 ・ 生徒の学力の向上を目指し、学校が主体的に企画する先進的な取組を支援する。 ・ テーマ：教科教育の充実・向上 (例) 国語力、理数系学力、英語力、基礎学力、専門教育	12,000	社会人講師授業改善プログラム ・ 京都の大学や企業・学研都市の研究機関などの外部人材(社会人講師)による授業を積極的に展開し、生徒の学習意欲や学力の向上を図る。	11,000	基礎学力充実 ・ 基礎・基本の徹底による学力充実	1,500	小 計		24,500	「豊かな未来」実現プラン	学習合宿・進路補習 ・ 集団の中で切磋琢磨し学力の向上を目指す。 ・ 生徒の積極的な学習意欲にこたえる補習等	20,350	資格取得促進 ・ 希望進路の実現のため、必要な資格を積極的に取得させる。	2,600	勤労体験学習 ・ インターンシップ等、将来希望する仕事や職種を体験することにより、生徒に具体的な将来像をもたせる。	4,000	府立高校実力テスト ・ 学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るとともに、適切な希望進路の実現に役立つ。	29,950	校種間連携推進 ・ 高校と大学との連携協力に関する協定締結を支援 ・ 学習指導や多様な教育活動に大学生を活用 ・ 中高一貫教育に関する研究	2,000	教科別合同学習会 ・ 教科指導力充実事業で養成した教員(授業の達人)により、難関大学に対応した受験指導を実施し、希望進路の実現に資する。	1,386	高校生芸術文化活動推進 ・ 京都府高等学校芸術文化連盟への助成により、府内高校生の芸術文化活動の充実・向上を図る。	6,000	小 計		66,286	合 計		90,786
	事業名	概 要	事業費																																		
	「確かな学力」向上プラン	(新規) 学力向上フロンティア校支援 ・ 生徒の学力の向上を目指し、学校が主体的に企画する先進的な取組を支援する。 ・ テーマ：教科教育の充実・向上 (例) 国語力、理数系学力、英語力、基礎学力、専門教育	12,000																																		
		社会人講師授業改善プログラム ・ 京都の大学や企業・学研都市の研究機関などの外部人材(社会人講師)による授業を積極的に展開し、生徒の学習意欲や学力の向上を図る。	11,000																																		
		基礎学力充実 ・ 基礎・基本の徹底による学力充実	1,500																																		
		小 計		24,500																																	
	「豊かな未来」実現プラン	学習合宿・進路補習 ・ 集団の中で切磋琢磨し学力の向上を目指す。 ・ 生徒の積極的な学習意欲にこたえる補習等	20,350																																		
		資格取得促進 ・ 希望進路の実現のため、必要な資格を積極的に取得させる。	2,600																																		
勤労体験学習 ・ インターンシップ等、将来希望する仕事や職種を体験することにより、生徒に具体的な将来像をもたせる。		4,000																																			
府立高校実力テスト ・ 学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るとともに、適切な希望進路の実現に役立つ。		29,950																																			
校種間連携推進 ・ 高校と大学との連携協力に関する協定締結を支援 ・ 学習指導や多様な教育活動に大学生を活用 ・ 中高一貫教育に関する研究		2,000																																			
教科別合同学習会 ・ 教科指導力充実事業で養成した教員(授業の達人)により、難関大学に対応した受験指導を実施し、希望進路の実現に資する。		1,386																																			
高校生芸術文化活動推進 ・ 京都府高等学校芸術文化連盟への助成により、府内高校生の芸術文化活動の充実・向上を図る。		6,000																																			
小 計		66,286																																			
合 計		90,786																																			
担当課・係名	高校教育課 振興係	課・係 電話番号	075-414-5859																																		

「確かな学力」向上プラン

ねらい

現地現場主義による教科教育の充実向上
校長を中心とした学校改革
全教職員の意識改革と指導力向上

事業イメージ



資料 4-1

基礎学力充実
基礎・基本の徹底による学力充実

「確かな学力」の向上

社会人講師
授業改善プログラム

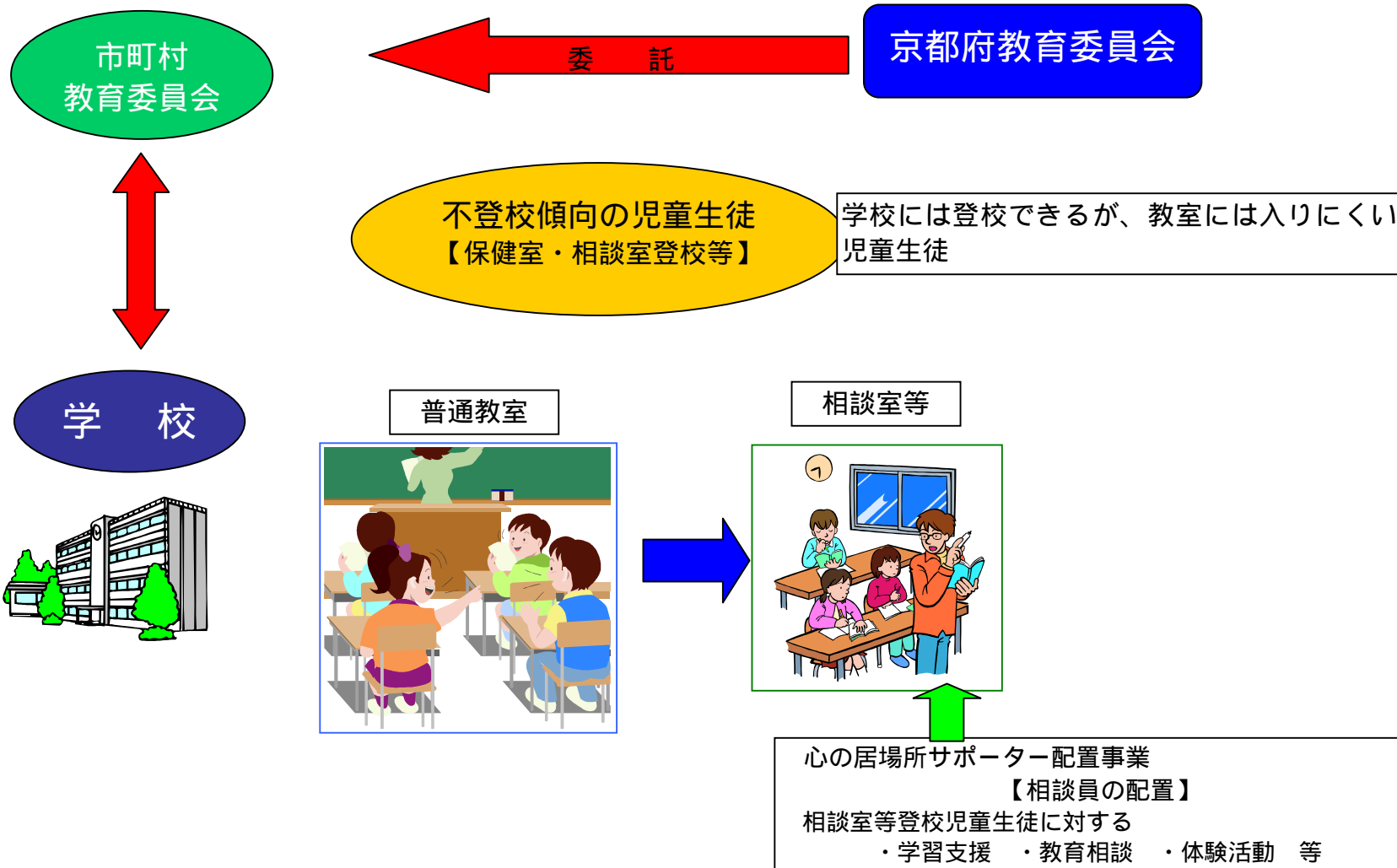
京都の大学や企業、学研都市の研究機関など、外部の人材を積極的に授業の中で活用

平成 18 年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	心の居場所サポーター配置事業費								
予算額	24,000千円	新規・継続の別	新規						
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的</p> <p>学校に登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うための心の居場所サポーターを配置し、不登校の未然防止と早期解決を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="384 1173 1374 1435"> <tr> <td data-bbox="384 1173 579 1263">配置校</td> <td data-bbox="579 1173 1374 1263">48校（小学校28校、中学校20校）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1263 579 1352">配置形態</td> <td data-bbox="579 1263 1374 1352">週12時間程度 年間35週程度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1352 579 1435">職務内容</td> <td data-bbox="579 1352 1374 1435">学習支援、相談、教材開発支援、体験活動等</td> </tr> </table>			配置校	48校（小学校28校、中学校20校）	配置形態	週12時間程度 年間35週程度	職務内容	学習支援、相談、教材開発支援、体験活動等
配置校	48校（小学校28校、中学校20校）								
配置形態	週12時間程度 年間35週程度								
職務内容	学習支援、相談、教材開発支援、体験活動等								
担当課・係名	学校教育課 指導第2係	課・係 電話番号	075-414-5840						

心の居場所サポーター配置事業 (新規)



資料 - 5 - 1

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	京の子ども夢・未来体験活動推進事業費														
予算額	43,500千円	新規・継続の別	新規												
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 目 的 「こころ生き生き体験活動推進事業」及び「地域ふれあい体験活動推進事業」において、地域の人々との世代間交流や職場体験活動を実施する中で、子どもたちの豊かな人間性の育成に大きな成果を収めた。こうしたことを踏まえ、小・中・高の発達段階に応じ、学校・家庭・地域社会が一体となった取組の充実を全府的に拡充し、教育における人・間中心の社会の実現を目指す。</p> <p>2 事業概要等</p> <p>(1) 府市協調による体験活動の実施</p> <table border="1" data-bbox="368 1155 1431 1379"> <tr> <td>事業内容</td> <td>府内全小・中学校で「仕事探究・体験活動、職場体験活動」を実施</td> </tr> <tr> <td>実施学年</td> <td>各学校の判断で柔軟に実施(基本は小学校4年、中学校2年)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>市町村補助 40,000千円(うち京都市 20,000千円)</td> </tr> </table> <p>(2) 体験活動支援企業等バンクの設置</p> <table border="1" data-bbox="368 1491 1431 1827"> <tr> <td>事業内容</td> <td>体験活動の受入れ企業等を集積したバンクを設立し、学校に情報発信(体験活動の状況を府教委の広報やホームページ等で積極的にPR)</td> </tr> <tr> <td>設置手法</td> <td>体験活動情報センター (ゆめ体験ネット KYOTO)に「情報バンク」を新設</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,500千円 (バンクシステム構築費、企業訪問旅費、連絡会議開催費等)</td> </tr> </table>			事業内容	府内全小・中学校で「仕事探究・体験活動、職場体験活動」を実施	実施学年	各学校の判断で柔軟に実施(基本は小学校4年、中学校2年)	事業費	市町村補助 40,000千円(うち京都市 20,000千円)	事業内容	体験活動の受入れ企業等を集積したバンクを設立し、学校に情報発信(体験活動の状況を府教委の広報やホームページ等で積極的にPR)	設置手法	体験活動情報センター (ゆめ体験ネット KYOTO)に「情報バンク」を新設	事業費	3,500千円 (バンクシステム構築費、企業訪問旅費、連絡会議開催費等)
事業内容	府内全小・中学校で「仕事探究・体験活動、職場体験活動」を実施														
実施学年	各学校の判断で柔軟に実施(基本は小学校4年、中学校2年)														
事業費	市町村補助 40,000千円(うち京都市 20,000千円)														
事業内容	体験活動の受入れ企業等を集積したバンクを設立し、学校に情報発信(体験活動の状況を府教委の広報やホームページ等で積極的にPR)														
設置手法	体験活動情報センター (ゆめ体験ネット KYOTO)に「情報バンク」を新設														
事業費	3,500千円 (バンクシステム構築費、企業訪問旅費、連絡会議開催費等)														
担当課・係名	学校教育課 指導第2係	課・係電話番号	075-414-5840												

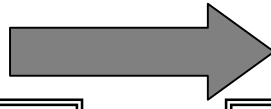
平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	豊かな心を育てる読書活動推進事業費 (新規事業抜粋)										
予算額	3,500千円	新規・継続の別	新規								
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的</p> <p>子どもの読書離れや活字離れに対応し、「京都府子ども読書活動推進計画」や「文字・活字文化振興法」等を踏まえ、子どもたちが自主的に読書活動を行う環境整備し、子どもたちの豊かな心の育成を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) みんなで読もう！1000万冊読書キャンペーン</p> <table border="1" data-bbox="384 1037 1374 1339"> <tr> <td data-bbox="384 1037 520 1167">目的</td> <td data-bbox="520 1037 1374 1167">本に親しみ、読書活動が充実することを通して、豊かな心をはぐくむ。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1167 520 1339">内容</td> <td data-bbox="520 1167 1374 1339">インターネット上で京都府民の読書状況を集約し、読書活動推進の気運を高める キャンペーン啓発グッズの作成・配布</td> </tr> </table> <p>(2) 声に出して読もう！ in 京都</p> <table border="1" data-bbox="384 1462 1374 1854"> <tr> <td data-bbox="384 1462 520 1637">目的</td> <td data-bbox="520 1462 1374 1637">児童生徒の言葉に対する興味・関心を高めるとともに、相手を意識し、自分の思いや考えを伝える表現や発表を行う力を身につけさせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1637 520 1854">内容</td> <td data-bbox="520 1637 1374 1854">古典暗唱大会や音読大会等を各教育局毎に開催 ・文字・活字文化の日(10月27日) ・読書週間(10月27日～11月9日)等 優秀な取組に対して表彰の実施</td> </tr> </table>			目的	本に親しみ、読書活動が充実することを通して、豊かな心をはぐくむ。	内容	インターネット上で京都府民の読書状況を集約し、読書活動推進の気運を高める キャンペーン啓発グッズの作成・配布	目的	児童生徒の言葉に対する興味・関心を高めるとともに、相手を意識し、自分の思いや考えを伝える表現や発表を行う力を身につけさせる。	内容	古典暗唱大会や音読大会等を各教育局毎に開催 ・文字・活字文化の日(10月27日) ・読書週間(10月27日～11月9日)等 優秀な取組に対して表彰の実施
目的	本に親しみ、読書活動が充実することを通して、豊かな心をはぐくむ。										
内容	インターネット上で京都府民の読書状況を集約し、読書活動推進の気運を高める キャンペーン啓発グッズの作成・配布										
目的	児童生徒の言葉に対する興味・関心を高めるとともに、相手を意識し、自分の思いや考えを伝える表現や発表を行う力を身につけさせる。										
内容	古典暗唱大会や音読大会等を各教育局毎に開催 ・文字・活字文化の日(10月27日) ・読書週間(10月27日～11月9日)等 優秀な取組に対して表彰の実施										
担当課・係名	学校教育課 指導第2係	課・係 電話番号	075-414-5840								

豊かな心を育てる読書活動推進事業

読書活動



表現活動

「みんなで読もう！
1000万冊読書キャンペーン」

本に親しみ、読書活動が充実することを通して、豊かな心をはぐくむ。

- ・ 学校又は個人が、パソコンに読書冊数を入力
- ・ 学校が読書感想やお薦め本を入力

「声に出して読もう！
in 京都」

- ・ 声の大きさ、間の取り方、読み方、リズム等を工夫し、読者としての感動を声に出したり、日本語のもつ美しさを体感したりしながら、児童生徒の言葉に対する興味・関心を高める。
- ・ 相手を意識し、自分の思いや考えを伝える表現や発表を行う力を付ける。

キャンペーングッズの
作成・配布

児童生徒の読書意欲の高揚

- ・ 文字・活字文化の日(10月27日)や読書週間(10月27日-11月9日)に各教育局毎に年1回開催
- ・ 古典暗唱大会や音読大会等
- ・ 表彰の実施

読むことを楽しむ

優れた表現に触れる

読書活動を推進し、表現力を総合的に高めていく

豊かな心の育成

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	「心の教科書」作成費																					
予算額	42,000千円	新規・継続の別	継続																			
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的</p> <p>「心の教育」の重要性に鑑み、京都の英知を結集して、子どもの心をゆり動かし、よりよく生きようとする意欲や態度を培うため、『京都発心の教育』の創造を目指して「心の教科書」を作成し、道徳の時間をはじめ、「心の教育」の中心教材として活用する。</p> <p>2 内容</p> <p>(1)作成部数</p> <table border="1" data-bbox="432 1108 1278 1339"> <thead> <tr> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低学年編</td> <td>26,000部</td> <td rowspan="3">中学校編</td> <td rowspan="3">38,000部</td> </tr> <tr> <td>中学年編</td> <td>26,000部</td> </tr> <tr> <td>高学年編</td> <td>26,000部</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)内容及び構成(案)</p> <table border="1" data-bbox="373 1444 1423 1921"> <thead> <tr> <th>内容(構成の柱)</th> <th>構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主として自分自身に関すること</td> <td rowspan="4">京の学識経験者や文化人からの寄稿文 子どもたちの作文やその作文に対するメッセージ 日常生活におけるマナーやルール</td> </tr> <tr> <td>主として他の人とのかかわりに関すること</td> </tr> <tr> <td>主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること</td> </tr> <tr> <td>主として集団や社会とのかかわりに関すること</td> </tr> </tbody> </table>			小学校		中学校		低学年編	26,000部	中学校編	38,000部	中学年編	26,000部	高学年編	26,000部	内容(構成の柱)	構成	主として自分自身に関すること	京の学識経験者や文化人からの寄稿文 子どもたちの作文やその作文に対するメッセージ 日常生活におけるマナーやルール	主として他の人とのかかわりに関すること	主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること	主として集団や社会とのかかわりに関すること
小学校		中学校																				
低学年編	26,000部	中学校編	38,000部																			
中学年編	26,000部																					
高学年編	26,000部																					
内容(構成の柱)	構成																					
主として自分自身に関すること	京の学識経験者や文化人からの寄稿文 子どもたちの作文やその作文に対するメッセージ 日常生活におけるマナーやルール																					
主として他の人とのかかわりに関すること																						
主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること																						
主として集団や社会とのかかわりに関すること																						
担当課・係名	学校教育課 指導第1係	課・係電話番号	075-414-5833																			

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立高校サタデー広場活動事業費										
予算額	11,000千円	新規・継続の別	継続								
事業内容	<p>1 目的 学校週5日制など教育を取り巻く環境が変化中、地域社会で子どもを育てる環境を整備するため、府立高等学校施設を活用して、土曜日における子どもたちの体験活動・学習活動等の一層の充実を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1" data-bbox="464 1151 1383 1559"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1151 627 1205">会場</th> <th data-bbox="627 1151 759 1205">実施日</th> <th data-bbox="759 1151 938 1205">対象者</th> <th data-bbox="938 1151 1383 1205">活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1205 627 1559">府立高校</td> <td data-bbox="627 1205 759 1559">土曜日</td> <td data-bbox="759 1205 938 1559">小・中・高校生等</td> <td data-bbox="938 1205 1383 1559"> 学習活動 パソコンを活用した活動 農作物の栽培 木工教室 スポーツ教室 等 </td> </tr> </tbody> </table>			会場	実施日	対象者	活動内容	府立高校	土曜日	小・中・高校生等	学習活動 パソコンを活用した活動 農作物の栽培 木工教室 スポーツ教室 等
会場	実施日	対象者	活動内容								
府立高校	土曜日	小・中・高校生等	学習活動 パソコンを活用した活動 農作物の栽培 木工教室 スポーツ教室 等								
担当課・係名	社会教育課振興係	課・係 電話番号	075 - 414 - 5883								

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	地域別教育活動推進費		
予算額	3,000 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 各教育局が市町村や関係団体と連携しながら企画・実施する取組を支援することにより、地域の教育的課題を地域で解決する機能を強化する。		
	2 事業概要 《取組事例》		
	局名	事業名	内容
	乙訓	アイテムバンク構築事業	・項目反応理論(IRT)に基づいて等化されたテスト問題群を蓄積し、絶対的な基準で、理解度の診断を行う方法を開発
	山城	「やましる未来っ子」支援事業	学生パワー活用事業 ・学生ボランティアによる学習支援 ・学生パワー活用フォーラムの開催 子どもの読書活動推進事業 ・山城地方子どもの読書活動推進協議会の開催 ・やましるファミリー読書月間の推進(ファミリーしおりコンクール) ・山城地方学校図書館司書教諭等研修会の開催 ・やましる子どもの読書活動推進フォーラムの開催
	南丹	学力ぐんぐんバンク事業	国語力ぐんぐん支援事業 ・国語力ぐんぐん委員の委嘱 ・委員による公開授業講座の実施 南丹まなびサポート事業 ・大学生ボランティアによる学習支援 ・公開授業講座等への大学生の参加
中丹	中丹の21世紀を担うひと(HITO)づくり事業 「中丹プロジェクト21」	中丹地域プロジェクト21会議の開催 ・構成員：委員(教頭)9人、研究員(教員)32人 3つの教育実践研究会による調査・研究 学力の充実 心の教育の充実 学社連携 教育実践アドバイザーによる指導育成 プロジェクト発表会の開催	
丹後	らぶ・らぶ丹後「ふるさと夢・未来」事業	「こんな丹後が魅力的」作文募集 ・郷土への思いや産業振興、地域づくり等をテーマにした作文募集 「丹後の魅力再発見」事業 ・愛郷心を育むとともに将来の定着を促す啓発的体験や講演、シンポジウム等の開催	
担当課・係名	学校教育課 庶務係	課・係 電話番号	075-414-5831